苦楽園中学校コミュニティ・スクールだより　第２号

西宮市立苦楽園中学校　学校運営協議会　　令和５年６月１２日発行

第１回グリーンボランティア活動を実施しました

５月２４日（水）、日本家庭園芸普及協会認定グリーンアドバイザーの松之内 孝様にご指導いただき、第１回グリーンボランティア活動を実施しました。グリーンボランティア１名と生活文化部の生徒１８名、そして先生方で正面玄関前の花壇を整備して新しく花の苗を植えました。

カラスノエンドウなどたくさんの雑草が生えて手入れが行き届いていなかった花壇が見違えるようになりました。参加してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

グリーンボランティア活動の様子は以下のとおりです。

雑草抜きと土の耕しで、ごみ袋は何袋もいっぱいになりました

苗を配置します

配置した苗を、一つひとつ丁寧に植え込みました

水やりをして完成

６年前は PTA で１０名ほどのグリーンボランティアが組織されており、月に２回ほどの活動で花壇の手入れをしてくださっていました。見守り隊と合わせて活動していたように思います。「子どもたちのために美しい環境をつくる」という PTA の熱い思いがこもった素敵な活動でした。しかし、新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）により人と交わることが制限されるようになると、これらの活動は停止してしまい、花壇の整備も滞ってしまいました。

５月８日にコロナが５類に移行され、すべてがコロナ前のようには戻りませんが、グリーンボランティア活動が PTA の素敵な活動の一つとして復活してくれることを願っています。

今回のボランティア募集で、グリーンボランティアには１名の方が応募してくださいました。

「まずは月に１回から」「生活文化部の生徒たちと一緒に」ということでグリーンボランティアの方と生徒たちで花壇整備に取り組みました。今回植えた苗が育ち、登校してくる生徒たちを、満開に咲き誇った花たちが迎えてくれる日が楽しみです。

環境は人がつくり、人は環境によって育てられる

心豊かに心身ともに逞しく成長するためには、美しく整備された教育環境はとても大切です。

落書きが落書きを呼ぶように、荒んだ環境の中では豊かな心は育まれません。ですから、生徒たちが先生方の指導のもとで、一生懸命に掃除をして美しい学校をつくることはとても大切です。また、環境には教室や校庭などのほかに、普段からの言葉遣いなど、お互いのコミュニケーションも含まれると言われています。まさに「環境は人がつくり、人は環境によって育てられる」ということです。

６年前は１学年５～６クラス規模の学校でしたが、現在は生徒数が減少して４クラス規模になっており、生徒たちや先生方だけでは校舎や広い校地を整備するのが厳しい状況になってきています。ですから、保護者や地域の方々にご協力いただき、生徒たちの豊かな心を育む教育環境整備を支援していただきたいと思っています。

子ども達のために月に１回、ガーデニングで汗を流してみてはいかがでしょうか。正面玄関で朝は生徒たちを迎え、夕方は見送ってくれる美しい花壇づくりをしてみませんか。みるみる美しくなる花壇づくりは、ガーデニングに興味のある方にとっては楽しみな活動の一つになると思います。

また、ボランティア活動を通して学校の状況がよくわかり、お子さんとの共通の話題が増えたり、保護者や先生方との新しいつながりができたりするなど、きっと坂道を上がって学校まで来るだけの値打ちある活動になると思います。

下の二次元コードより学校支援ボランティア登録のページに入れますので、グリーンボランティアの登録をよろしくお願いします。

苦楽園中学校
学校支援ボランティア
募集（登録）について